

【 第3回協議会意見についての事務局検討結果 】

1. 事業名 敬老祝金給付事業

【提案者：柿沼委員】

平均寿命を考慮し、給付対象年齢の見直しを図るということだと思いますが、平均寿命が伸びてきたとしても、88歳にならないと何も給付を受けられないのは、市民に理解が得られないのではないかと思います。

この事業は、他市と比べると本庄市が一番いいと思っております。事業の見直しを行う自治体が増えているからではなく、良いところはそのまま続けてもいいと思います。

寿命が延びて高齢化が進み、お金がかかるから年齢を引き上げることには反対です。現行の事業内容での継続にしてもらいたいと思います。

【検討結果】

高齢者の皆様が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、生活を支援するための制度が必要であり、現行の制度についても、現状にあった見直しが必要であるとの考えから、今回皆様にご意見をお伺いしております。

敬老祝金給付事業につきましても、委員の皆様から様々なご意見をいただき、見直し案や修正案について提案させていただいております。

最終案を作成するにあたり、委員の皆様からいただいたご意見等を基に、再検討した結果、平均寿命や敬老祝金給付の目的である、長寿を祝うということを考慮し、77歳については廃止し、88歳になる方に2万円。また、100歳を1つの節目と考え、100歳になった方に3万円を贈呈したいと考えます。